進路だより

令和2年度　第1号
下関南総合支援学校　進路部
令和2年5月8日

新型コロナウイルス感染症における感染拡大防止のため、臨時休校となり、いつもとは違う新年度が始まりました。しばらく安定しない日々が続くかもしれませんが、一人ひとりが「3つの密」を回避して安心安全な生活を心掛けていきましょう。

今年度、進路部では、「進路のしおり」を作成いたしました。進路指導、キャリア教育の充実、進路だよりやホームページ、進路研修会等を通じて、進路情報の発信に努めてまいりたいと思います。

〈進路のしおり〉

進路部では、今年度より『進路のしおり』を作成しました。各家庭に1部ずつ配付いたします。この『進路のしおり』が児童・生徒のみなさんの将来を考える上で、道しるべの一つになれば幸いです。年度毎に更新してまいります。参考資料として保管のうえ、ご活用くださるようお願いいたします。



〈障害福祉サービス合同説明会〉

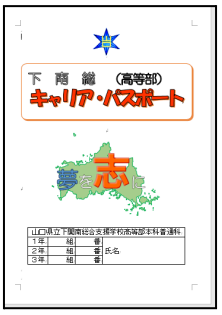




毎年5月の末に開催されていた「障害福祉サービス合同説明会」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症における感染拡大の防止から、開催を見合わせ、次年度に延期することとなりました。今年度は各事業所パネルを市内3校の総合支援学校で巡回展示をすることとなりました。本校に回ってきたときにご連絡いたします。また、事業所について知りたい情報があれば進路担当にお問い合わせください。

〈キャリア・パスポート〉

今年度より、小・中・高の準ずる学級の児童生徒対象に「キャリア・パスポート」を作成します。これは様々な活動を通して児童生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりするためのツールの一つです。担当する教員と対話をしながら作成し、児童生徒のより良い成長を促せるものになることが期待されています。



〈進路希望調査〉

小学部の4・5・6年生、中学部、高等部（普通科・理療科）の児童生徒の進路希望調査を行います。現時点での希望でかまいませんのでわかる範囲でお答えください。今後の進路指導に役立てたいと思います。

高等部の生徒にとっては、将来への選択の時は確実



に迫ってきています。進学や就職など、様々な選択肢の中から自分の進路を選択しなければなりません。自分は将来、何がしたいのか真剣に考え、なりたい自分を想像し、そのために必要な力を身に付けていくことが必要になります。
　しかし、闇雲に不安になることはありませんし、進路についての悩みは誰でもあるものです。家庭でしっかり話をしていただき、話したことや今の段階で思っていることを進路希望調査に記入してください。それを基に進路懇談会や学級懇談会などを通じて、児童生徒の進路の実現のために一緒に考えていきたいと思います。

〈現場実習について〉



人は働くことを通して人や社会から認められたり、人や社会に貢献することで社会の一員としての役割を果たす喜びを味わえたりします。本校では、中学部（3年）高等部普通科において、普段、学校や家庭で身に付けたことを現実的な条件下で実践し、様々な体験ができる「現場実習」を行っています。現場実習は、施設や事業所、作業所、企業等の協力を得て、実際の生活や仕事など具体的な経験を通して自己の能力・適性を知り、職場での決まりや生産の仕組み、社会人としての心構えや働くことの意義を学び、卒業後の社会生活に対する適応性を高める効果が期待できます。
　高等部理療科では、職場見学（1年）やヘルスキーパー実習（2・3年）等があります。将来の自己実現のために様々な体験を活かしてもらいたいと思います。



※今年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1学期に計画していた高等部理療科（1年）の職場見学は中止となりました。高等部普通科の現場実習においても施設や企業の受け入れが難しいため、1学期（前期）の実習は基本的に中止とします。（3学年は随時実習ですので受け入れが可能になり次第進めていきます。）また、変更がありましたら連絡いたします。

進路部長　　河野　亜希子